

【高等学校用】

令和3年度学校評価 計画

様式1(高等学校)

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立唐津青翔高等学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・コロナ禍で活動が制限される中、十分な対策を検討したりリモートで実施したりして、従来の行事や活動と変わらない教育効果をあげることができた。</p> <p>・地域連携についてもBWプロジェクトを中心に、できる範囲内で必要な教育活動と広報活動ができた。来年度以降も引き続き、地域連携の充実を図り、生徒の自己肯定感の醸成とキャリア教育の充実につなげていく必要がある。</p> <p>・授業でのICT利用とリモートによる集会の実施などICT機器を利用する頻度はかなり増えているが、今後、臨時休校になった際のオンライン授業が適切に実施できるか課題が残る。</p> <p>・本校生徒の特性を十分に踏まえ、基礎学力の向上、規律やマナーに関する生徒指導(校内美化を含む)について、職員の間で共通理解を図り、強化していく。また、いじめの早期発見・早期対応のため情報共有など職員の意見交換の場を適切に設ける必要がある。</p> <p>・追認指導の在り方などを検討し、業務の削減と会議の縮減、実効性のある定時退勤日の実施など時間外勤務の減少につながる方策を実行していく。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	<p>「確かな学力と豊かな心、健やかな身体を育み、自主と自立の精神を養い、高い志を持って地域社会に貢献する人材を育成する。」</p> <p>校訓『自律・挑戦・感謝』の精神で心と体を成長させ、大空(社会)に羽ばたいていく生徒を育成する。</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>学校スローガン『青翔魂！昨日の自分を超えていけ！』を合言葉に、</p> <p>①地域に愛され、地域に信頼される。 ②志を持ち、夢の実現のためにベストを尽くす。 ③失敗を恐れずチャレンジする。 ④自分と他人を愛する。 ⑤綺麗で安心な学校をみんなで作る。</p> <p>を、生徒と教師がともに目指し、元気で明るい学校をつくる。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	
	取組内容	成果指標(数値目標)						
●学力の向上	○基礎学力の向上のため、継続的な学習の習慣をつける	○朝の青翔タイム(学び直しの時間)を継続的に行うなかで、基礎的な学力の定着を目指す。 ○毎朝15分の青翔タイムを落ち着いた静かな雰囲気の中で学習させる。 ○青翔タイムの時間を大事に行うためにも、遅刻の数を20%減少させる。	・各学年で、生徒の現状に合わせた共通の取り組みを行い、年間を通して一貫した指導を行う。 ・青翔タイムが始まる前に職員が早めに教室に行き、8時30分より落ち着いた雰囲気の中で青翔タイムをスタートできるようにする。 ・組織的な遅刻指導を行い、保護者と連携して指導にあたる。					教務
	○ICT活用教育の実施	○社会に貢献する人材の基礎となる能力の育成のため、1年次生の全商ビジネス文書実務検定3級の合格率を60%以上にする。 ○生徒に合った教材作成に向け、職員のICTに関する基本的なスキルアップを図り、ICTを利用した自主製作教材を20件以上にする。	・「社会と情報」の授業等を活用して、タイピングや文書作成の練習パソコンの知識を学ぶ機会を設ける。 ・ICT支援員と協力しながら、職員の教材作成をバックアップしていく。他校で行われている取り組みなどの情報を共有し、より効果的なICT活用教育を目指す。					ICT推進
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートで「豊かな心を身に付ける教育活動が行われている」と回答する割合を80%以上(生徒・保護者・職員で)にする。	・HR活動では、本校の生徒に理解しやすい内容の講話などを行い、振り返りの機会も設ける。 ・日々の授業の中でも、生徒に豊かな心を身に付けるために話をするなど、職員が生徒のためになる情報を常に意識する。					教務(道徳教育等)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめの早期発見に努め、「いじめを許さない」「いじめを見逃さない」学校づくりが行われている」と回答した教員が90%以上にする。	・年に3回以上、学校生活アンケートを実施して、いじめの早期発見に努める。 ・全校集会や担任等を通して、いじめ問題やSNS・ライン等の適切な利用について指導する。 ・いじめと思われる場面を発見した場合、学年主任・担任等に報告し、情報を共有できるようにする。					生徒指導部
	○自己肯定感の醸成	○学校評価アンケートで「部活動や生徒会活動など活発である」と回答する生徒を80%以上にする。	・昨年度できなかった部活動体験入部を実施し、部活動加入率を上げる。 ・各部活動の試合や大会の日程をホールに掲示し、全校生徒の目に触れるようにする。入賞した場合は全校表彰をする。 ・生徒会活動の一環として挨拶運動や清掃活動などを定期的に行う。					生徒会
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒を育成していくにあたり、特に朝食をきちんと摂ることが高校生の心身の健康にかかわりがあることを知らせ、朝食摂取率の割合を80%以上にする。	・日頃のHRでの声掛け、家庭科の授業、保健だよりや食育だより、青翔ニュースなどをとおして、食育を推進し、生徒・保護者の意識を高め、行動できるようにする。					保健部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・各担当分掌や係で業務や会議の縮減を図る。 ・定時退勤日を確実に実践し、職員一人一人が日常業務におけるタイムマネジメントを行い、業務改善の意識を高める。					教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	
	取組内容	成果指標(数値目標)						
○キャリア教育・進路指導	◎キャリア教育の充実による進路意識の向上	○1、2年生は、キャリア教育に関する年度末の調査で「働くことの意義について考えることができた」と回答する生徒の割合を80%以上とする。 ○3年生は、進路決定率を100%とする。	・「キャリア教育支援事業」や地域の力を活用し、総合学科に特化した内容を実施する。 ・面接、特課、個人指導等様々な機会を通じ生徒の進路希望や進路適性について理解を深め、職員間での情報共有を密に行い、効果的な進路指導につなげる。					進路指導部
○開かれた学校づくり	○地域との連携(地域と連携した教育活動と広報活動の充実)	○商品開発や介護実習など、各系列ごとに地域と連携した取り組みを充実させ、地域に発信する。生徒が地域のニーズを学び、地域のために活動する経験を3年間で100%にする。	・商品開発など既存の活動を地域や中学生に伝える工夫(学校HP、学校パンフレット、青翔ニュース、学校説明会)を行う。 ・地域のニーズを学び、地域のために解決策を考える中で生徒たちの成長を総合学科発表会で報告する。					企画広報部
○環境整備と美化	○綺麗で安心な環境づくり	○校内が快適な環境となるよう整備点検に努め、ゴミの持ち帰りや分別をはじめ校内環境美化や整理整頓に取り組んだ生徒の割合を80%以上にする。	・定期安全点検を隔月で実施する。 ・各クラス美化係による校内のゴミ拾いを定期的実施する。 ・さわやか清掃活動(校内外ボランティア活動)を前・後期1回実施する。					保健部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--